

# 指定管理者の令和7年度決算概要 ー 県央基幹病院 ー

- 経常収益は、入院・外来診療収益ともに大幅に伸びた（対前年+16.5%）ことで、133.8億円（+19.0億円）となった。
- 経常費用は、電力契約の見直し等を実施したものの、患者数増に伴う材料費の増やメーカー保証期間終了に伴う医療機器保守料の増などにより、138.0億円（対前年+12.9億円、+10.3%）となった。
- 令和7年度の当期純損益は、▲4.2億円と昨年度の▲10.3億円から**6.1億円改善**した。

（単位：百万円、%）

	令和7年度		令和6年度		増減額	
	決算 ①	医業収支 比率	決算 ②	医業収支 比率	①-②	増減率 ①/②
経常収益	2 13,380	109.7	11,481	109.9	1,899	16.5
病院事業収益	12,192	100.0	10,450	100.0	1,742	16.7
入院診療収益	2(1) 8,281	67.9	7,063	67.6	1,218	17.2
外来診療収益	2(2) 3,703	30.4	3,088	29.6	615	19.9
病院事業外収益	27	0.2	7	0.1	20	285.7
受取補助金等	1,116	9.2	981	9.4	135	13.8
政策医療交付金	865	7.1	934	8.9	▲69	▲7.4
国経済対策（賃上げ・物価）	228	1.9	0	0.0	228	皆増
その他収益	45	0.4	43	0.4	2	4.7
経常費用	3 13,798	113.2	12,512	119.7	1,286	10.3
給与費	3(1) 7,366	60.4	6,935	66.4	431	6.2
材料費	3(2) 3,680	30.2	3,054	29.2	626	20.5
その他経費	3(3) 2,752	22.6	2,523	24.1	229	9.1
経常損益	▲418		▲1,031		613	▲59.5
経常外損益	▲2		▲3		1	▲33.3
税引前当期純損益	▲420		▲1,034		614	▲59.4
法人税等	0		0		0	-
当期純損益	1 ▲420		▲1,034		614	▲59.4
累積損益※	4 ▲1,808		▲1,388		▲420	30.3

※：これまで、令和6年3月の開院以降の累積損益額を記載していたが、令和4年8月からの開院準備期間を含む累積損益額に変更。

## 1 当期純損益 ▲4.2億円（R6：▲10.3億円）

## 2 経常収益 133.8億円（対前年+16.5%）

### (1)入院診療収益 82.8億円（対前年+17.2%）

- 開業医への訪問活動による紹介患者増加の取組や入院診療加算の新規取得等により、患者数及び診療単価とも増加
- ・患者数 R6：323.0人 → R7：361.2人（+38.2人/日,11.8%増）
- ・入院診療単価 R6：59,546円/人・日 → R7：62,858円/人・日（+3,312円,5.6%増）

### (2)外来診療収益 37.0億円（対前年+19.9%）

- ・患者数 R6：618.3人 → R7：691.0人（+72.7人/日,11.8%増）
- ・外来診療単価 R6：20,564円/人・日 → R7：22,134円/人・日（+1,570円,7.6%増）

## 3 経常費用 138.0億円（対前年+10.3%）

- (1) 給与費：職員数の増や手術件数増に伴う麻酔科等の助勤医師費用の増等
- (2) 材料費：患者数や化学療法実施件数による増、物価高騰等
- (3) その他経費：メーカー保証期間終了に伴う医療機器保守料の増等

## 4 累積損益 ▲18.1億円（R6：▲13.9億円）

## ■ 入院診療

	R6年度	R7年度	比較
入院患者数 (人/日)	323.0	361.2	+ 38.2
病床稼働率 (%)	80.8	90.3	+ 9.5
入院診療単価 (円/人・日)	59,546	62,858	+ 3,312

- 紹介実績がある開業医を中心に更なる患者紹介を依頼したことによる患者数の増加
- 入院診療加算の新規取得や手術件数の増加 (R7 : 4,076件、対前年 + 443件) による入院診療単価の上昇

## ■ 外来診療

	R6年度	R7年度	比較
外来患者数 (人/日)	618.3	691.0	+ 72.7
外来診療単価 (円/人・日)	20,564	22,134	+ 1,570

- 化学療法の実施件数増 (前年比約60%増) 等により、患者数及び診療単価とも増加

## ■ 紹介・逆紹介率

※紹介率 = (紹介患者数/初診患者数) × 100  
 ※逆紹介率 = (逆紹介患者数/初診患者数) × 100

	R6年度	R7年度	比較
紹介率 (%)	72.5	81.0	+ 8.5
逆紹介率 (%)	75.6	91.9	+ 16.3

- 地域でひとつの病院として機能するよう、周辺病院と連携して診療を実施
- 周辺病院との週1回の定例打合せ等により、転院搬送件数が増加したことで逆紹介率が向上

## ■ 救急搬送 (県央基幹病院及び県央圏域)

	R6年度	R7年度	比較
県央基幹病院の救急搬送件数 (件)	6,412	6,343	▲ 69

	R5年度(開院前)	R6年度	R7年度	比較(R7-R5)
県央圏域における救急搬送総数 (件)	9,830	10,965	10,671	+ 841
圏域内搬送数 (件)	7,733	9,543	9,399	+ 1,666
圏域内完結率 (%) ※1	78.7	87.0	88.1	+ 9.4
救急搬送時間 (分)	56.9	51.9	※2 51.9	▲ 5.0

※1 : 目標は95%程度 ※2 : R7は、R7.4~R8.1実績

注 : 圏域外消防本部からの救急搬送件数は含まない

- ◎ 圏域内での役割分担を進めた結果、県央基幹病院の紹介率・逆紹介率が向上し、入院及び外来の患者数・診療単価は増加した。
- ◎ 救急搬送件数は、R6年度と同水準を受け入れたほか、圏域内完結率は、R5年度 (開院前) から9.4ポイント上昇の88.1%となった。引き続き、地域での「断らない救急」への取組を着実に進めていく。

# 県央基幹病院の経営改善の取組

- 令和7年度は、救急患者を昨年度並みの6,343件受入れ、圏域内救急の最後の砦として引き続き役割を果たした。また、患者数の増加や入院診療加算の取得促進により収益が向上したことで、収益の土台作りが一層進んだ。
- 令和8年度は、入院診療加算の更なる取得とコストの健全化による適切な病院運営を確立し、収支均衡の実現に向けて取り組む。

## R7年度の実績

### ①収益増

- 入院診療加算の新規取得及び既存加算の算定強化
  - HCU稼働病床の向上（7床→8床）
  - 紹介患者の増加により、主に、外科や整形外科等の予定入院患者が増加（R7紹介患者数：7,780人、対前年+647人）
- 計約2億円の増収**

### ②費用減

- 各種費用（給与費、材料費、その他経費）において削減の取組みを実施  
→**合計約1.5億円の削減**  
(具体的な取組)
  - ・ 給与費：医師業務の診療看護師等へのタスクシフト等による時間外勤務の削減
  - ・ 材料費：グループ内共同購入の活用推進や、済生会ベンチマークを活用した診療材料の価格交渉
  - ・ その他経費：済生会グループの電力共同契約への変更や、電気の適切な使用促進

## 収支均衡に向けた経営改善の主な取組

### ①収益増

- 入院診療加算の新規取得や上位加算の取得  
→入院診療単価の向上
- 予定入院患者の更なる獲得  
→入院及び外来の患者数、診療単価の増加
- 血液内科及び耳鼻科の常勤医着任による入院診療収益の向上

### ②費用減

- 材料費の削減
  - ・ 医薬品費
    - ①後発医薬品の使用促進  
→入院診療収益は、疾患ごとに1日当たりの診療報酬が定められており、一層の費用削減を図る
    - ②発注方法の見直し  
→発注数量や卸業者の見直しを検討中
  - ・ 診療材料費  
→済生会ベンチマークを活用した価格交渉を継続

## 済生会収支目標

- 収支改善の取組みを進め、**早期の収支均衡**を目指す
- R8予算及びR9見通しについては、診療報酬改定の影響を精査中

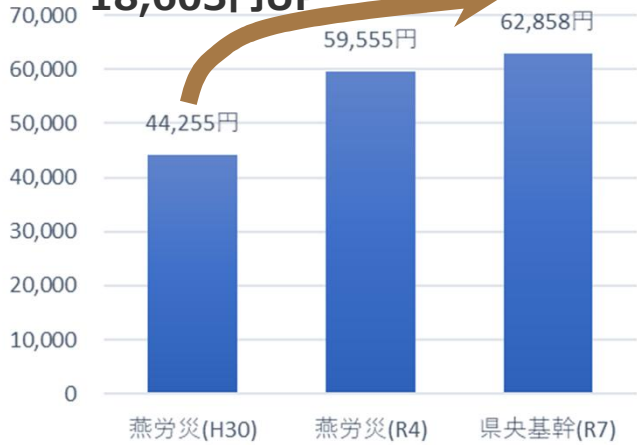
単位：百万円

	R6		R7		R8		R9	
	決算	計画	決算	計画	予算	計画	見通し	
収入	11,481	12,116	13,382	12,262	13,726	12,778	15,000	
費用	12,515	12,558	13,802	12,607	14,121	12,745	15,152	
純損益	▲1,034	▲442	▲420	▲345	▲395	33	▲152	
累積損益	▲1,388	▲1,830	▲1,808	▲2,175	▲2,203	▲2,142	▲2,355	

# (参考) 数字で見る旧燕労災病院と県央基幹病院

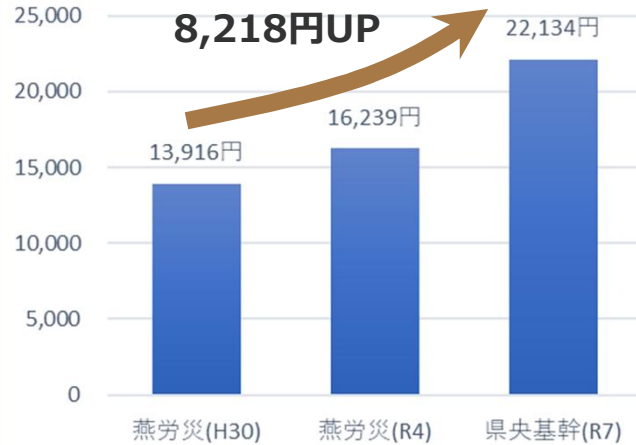
## 入院診療単価

18,603円UP



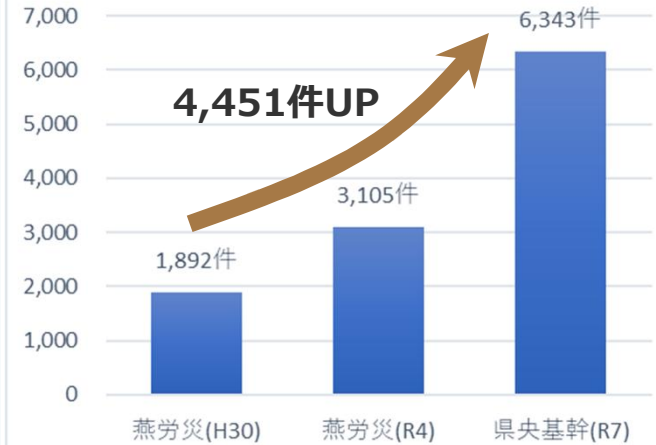
## 外来診療単価

8,218円UP



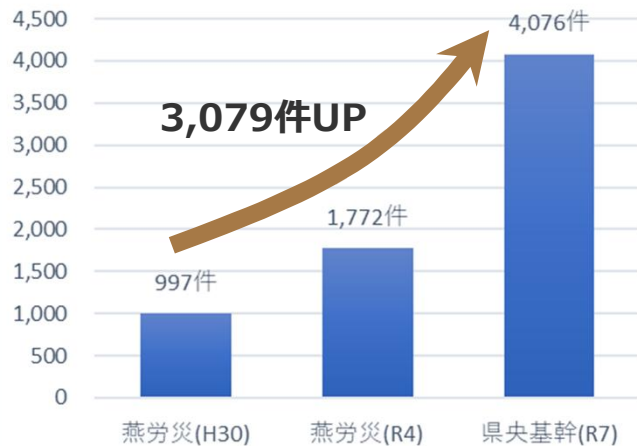
## 年間救急搬送受入数

4,451件UP



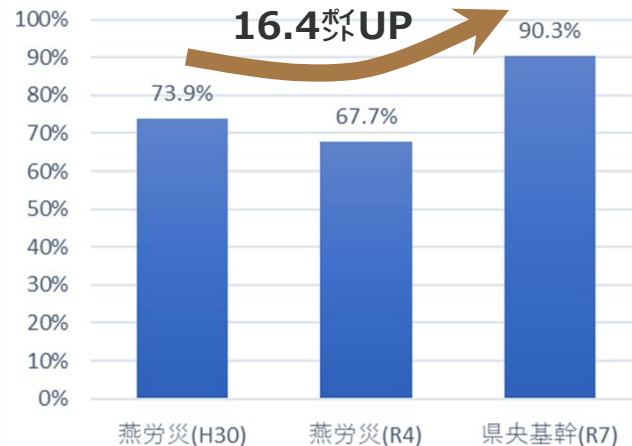
## 年間手術件数 (手術室内)

3,079件UP



## 病床稼働率

16.4%UP



## 医師数 (臨床研修医含む)

63人UP

